

第二部会 審議資料

資料 1 - 1

(事業名) (仮称) 品川駅北周辺地区 1 街区、2 街区、3 街区、4 街区開発事業

部会審議項目(12) 大 臭 騒 水 盤 循 日 電 風 景 廃 温 (は終了)

(環境影響評価の項目) 騒音・振動

(年月日) 平成 31 年 4 月 19 日

| 項 目 | 環境影響評価書案 | 環境影響評価書案 関連頁 |
|------------|--|-----------------|
| 現 況 調 査 | (1) 調査事項及び選択理由 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果 | P135～P151 |
| 予 測 | (1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域及び予測地点 (4) 予測方法 (5) 予測結果 | P152～P173 |
| 環境保全のための措置 | | P174 |
| 評 価 | | P175～P181 |
| 都民の主な意見 | 別紙 1 のとおり | |
| 関係区長の意見 | 別紙 1 のとおり | |
| 項目検討の内容 | (1) 検討年月日 平成31年 3 月 29 日 (2) 担当委員 坂本 慎一 委員 (3) 検討結果 意見あり (別紙 2 のとおり) | |

都民の主な意見

- 調査測定した場所が、坂のなだらかな部分であり、登坂時の負荷を検討していないように見受けられる。急坂での負荷データで再度検証することを求める。
- 当事業は新駅開発事業と実質的にはひとまとまりの開発と捉えられることから、新駅開発事業による負荷を合わせて評価すべきである。
- 交通量増加が及ぼす環境指標への影響についてサンプル数の少ないポイント方式ではなく、沿線で捉えるきめ細かな評価を行うほか、車両進入を減らす交通コントロールを行っていただきたい。

関係区長の意見

【港区長】

- 建設作業にあたっては、騒音、振動、粉塵等、周辺環境に与える影響の低減に努めてください。
- 工事車両について、騒音、振動、大気汚染など周辺への影響を十分考慮するほか、主な走行ルートである第一京浜（国道 15 号線）は交通量が大変多く、工事車両の待機や駐停車などにより交通渋滞が発生することが予想されるので、場内での駐車スペースの確保や適切な工事車両運行計画を検討してください。また、今後、施工計画を検討する際には、一部の工事車両の走行ルートとしている補助第 13 号（都道 415 号・高輪麻布線）の通行について、周辺への負担軽減を図る等の対策を講じてください。

【品川区長】

なし

項目：騒音・振動

| 意見 | 意見の取扱いについての事務局案 |
|---|-----------------|
| 1 各街区における建設機械の稼働に伴う騒音・振動レベルは、評価の指標を満足するものの、これらの数値が高いことから、環境保全のための措置を徹底するとともに、事後調査に当たっては、周辺への影響を適切に把握すること。 | 指摘の趣旨を答申案に入れる。 |
| 2 関連車両の走行に伴う道路交通騒音レベルは、夜間において一部の地点で環境基準を上回ることから、環境保全のための措置を徹底し、騒音の影響を低減するよう努めること。 | 指摘の趣旨を答申案に入れる。 |

第二部会 審議資料

資料 1 - 2

(事業名) (仮称) 品川駅北周辺地区 1 街区、2 街区、3 街区、4 街区開発事業

部会審議項目(12) 大 臭 騒 水 盤 循 日 電 風 景 廃 温 (は終了)

(環境影響評価の項目) 日影

(年月日) 平成 31 年 4 月 19 日

| 項 目 | 環境影響評価書案 | 環境影響評価書案 関連頁 |
|------------|---|-----------------|
| 現 況 調 査 | (1) 調査事項及び選択理由 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果 | P235～P255 |
| 予 測 | (1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域及び予測地点 (4) 予測方法 (5) 予測結果 | P257～P274 |
| 環境保全のための措置 | | P275 |
| 評 価 | | P275 |
| 都民の主な意見 | 別紙のとおり | |
| 関係区長の意見 | な し | |
| 項目検討の内容 | (1) 検討年月日 平成31年 3 月 18 日 (2) 担当委員 平手 小太郎 委員 (3) 検討結果 意見なし | |

都民の主な意見

説明会質問にも出たが、現計画では、ぎりぎり日影制限には掛からない計画となっている。但し今後の5、6街区との複合日影で鑑みると、ぎりぎりであるが故に、影響が出るものと推察され、計画的な規制回避とも思われる。

5、6街区は2030年以降なので影響も算定も不明、と東日本旅客鉄道は説明したが、最低でも5、6街区の開発時には現計画との複合日影にて影響を保証すると明言すべきであると思う。

第二部会 審議資料

資料 1 - 3

(事業名) (仮称) 品川駅北周辺地区 1 街区、2 街区、3 街区、4 街区開発事業

部会審議項目(12) 大 臭 騒 水 盤 循 日 電 風 景 廃 温 (は終了)

(環境影響評価の項目) 景観

(年月日) 平成 31 年 4 月 19 日

| 項 目 | 環境影響評価書案 | 環境影響評価書案 関連頁 |
|------------|---|-----------------|
| 現 況 調 査 | (1) 調査事項及び選択理由 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果 | P321～P338 |
| 予 測 | (1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域 (4) 予測方法 (5) 予測結果 | P339～P366 |
| 環境保全のための措置 | | P367～P368 |
| 評 価 | | P369～P370 |
| 都民の主な意見 | な し | |
| 関係区長の意見 | な し | |
| 項目検討の内容 | (1) 検討年月日 平成31年 3 月 18 日 (2) 担当委員 平手 小太郎 委員 (3) 検討結果 意見なし | |